



2025 年 2 月

ビジネス・イノベーション研究所 兼任研究員 活動報告

(1) 西村 順二

- 西村順二研究室の2年ゼミ生が開発した「就活靴下」「内定靴下」の記事が2025年2月3日の「織研新聞」に掲載されました。

【掲載日】2025年2月3日 織研新聞

経営学部 西村順二 教授のゼミ生が開発した「就活靴下」「内定靴下」の記事が2025年2月3日の「織研新聞」に掲載されました。昨年10月より、加古川市の靴下メーカー株式会社神木（こうぎ）と産学連携研究を進めてきました。これは本学と加古川市が共催する「加古川『知』を結ぶプロジェクト」に基づくものです。

西村ゼミ2回生は、株式会社神木が製造する靴下の品質力の高さ、そして工場見学時に発見した余剰靴下に着目し、これらを利活用することによって「繋がる靴下」を企画・開発し、テストマーケティングとして100足を1月20日から、甲南大学生協において販売開始しました。今回は、友人同士が繋がる靴下として、学生向けに「就職靴下」「内定靴下」の販売を行いました。このテストマーケティングを通して販売動向のチェック、購買者へのアンケート調査を実施し、本格的な「繋がる靴下」の完成形を目指しています。

[【経営学部】西村順二 教授のゼミ生が開発した「就活靴下」「内定靴下」の記事が2025年2月3日の「織研新聞」に掲載されました | お知らせ | 甲南大学フロンティア研究推進機構](#)



- 西村順二所長が、経済団体での経営塾でコメンテータを務めました。

【開催日】2025 年 2 月 18 日

【場所】三宮センタープラザ西館会議室

西村順二所長が、（一社）在日韓国商工会議所兵庫の経営塾でコメンテータを務めました。30 名の起業・第二創業を目指す実務家の勉強会で、地域課題解決から大規模企業への成長の可能性についての議論が行われ、西村順二所長からは、標準化と適応化の重要性がコメントされました。

- 西村順二研究室の 2 年ゼミ生が加古川『知』を結ぶプロジェクトで最優秀賞を獲得しました。

【開催日】2025 年 2 月 15 日

【場所】加古川市役所ホール

本学と加古川市との連携協定に基づく加古川『知』を結ぶプロジェクトが開催され、経営学部西村順二研究室の 2 年ゼミ生が、(株)神木との産学連携研究の成果を発表しました。「繋ぐ靴下」を提案し、その論理性、実証性、コンセプトの社会性が評価され、最優秀賞を授与されました。

[【ニュース】甲南大学生協「西村ゼミ企画：就活靴下を販売し...」大学生協事業連合](#)

- 加護野塾(旧 若手経営者のための MBA 講座)において西村順二所長がコメンテータを務めました。

【開催日】2025 年 2 月 20 日

【場所】神戸ポートピアホテル

神戸大学名誉教授 故 加護野忠男氏がスタートさせた早朝勉強会に西村順二所長が出席し、コメンテータを担当。今回は、製紙関係企業の経営者による自社分析と戦略に関するテーマでの議論が行われました。



- 西村順二所長が大阪府経営合理化協会の経営幹部塾で「戦略論」を講演しました。

【開催日】2025年2月20日

【場所】大阪産業創造館 会議室

西村順二所長が大阪府経営合理化協会の経営幹部塾において、20名の経営幹部に対して戦略論の講義を行いました。

- 西村順二所長が兵庫県朝来市の第3次観光基本計画外部評価委員会の会長を務めました

【開催日】2025年2月21日

【場所】朝来市市庁舎 会議室

地元観光業者、朝来市DMO、兵庫県観光局、学識経験者等から構成される兵庫県朝来市の観光基本計画の外部評価委員会において、2024年度の観光基本計画の評価が行われ、西村順二所長が委員会会長を務めました。

- 西村順二所長が神戸市中央卸売市場東部市場の専門部会会長を務めました

【開催日】2025年2月27日

【場所】神戸市中央卸売市場東部市場 会議室

神戸市中央卸売市場東部市場の専門部会が開催され、西村順二所長が会長を務めました。会議では、5か年の経営展望計画の進捗度の評価と課題が議論されました。

- 西村順二研究室の2年ゼミ生が『知』を結ぶプロジェクトにて最優秀賞を受賞した記事が織研新聞に掲載されました。

【掲載日】2025年2月28日 織研新聞

2025年2月28日付 織研新聞

甲南大との課題解決プロジェクトで受賞
靴下メーカーの神木（兵庫県加古川市）は、加古川市内の企業や団体が抱える課題の解決を甲南大学の学生と共同で目指す「加古川『知』を結ぶプロジェクト」の最優秀賞に選ばれた。

24年4月に応募し、同大学経営学部マーケティングを研究している西村順二教授ゼミ所属の2年生と連携してきた。「繋がる」をテーマに、過剰在庫の靴下にオリジナルのサークルロゴを刺繍したものを企画・販売し、SNSで靴下産業の魅力などを発信するという取り組みが評価された。

神木雅之代表は、「学生たちが提案してくれた『繋がる靴下』のコンセプトには、靴下の物作りの本質が集約されていると感じた。受賞を励みに、今後より一層、靴下産業の発展と価値創造に努めたい」とコメントした。

左から神木代表、岡田康裕加古川市長、西村ゼミの2年生ら



以上